

立命館大学「社会と学ぶ課題解決」— ご協力のお願い

1. 「社会と学ぶ課題解決」の概要について

(1) 授業概要

教養教育科目のうちの全学部横断型「キャリア教育科目」の開設科目で、学部混合のゼミナール（演習）形式により、課題解決型授業（Project Based Learning）を実践しています。

具体的には、企業の方に授業へお越しいただいて、ビジネスの現場における課題を提示いただき、学生がグループに分かれて解決策の企画立案、一次・最終プレゼンテーションを行うというサイクルを2セット（2企業）行います。

連携企業の方から学生に対して中間・最終プレゼンに対するフィードバックをいただくことで、自分に足りないもの、社会で求められる能力などに気付くとともに、大学での学びを将来どのように役立てるか等を考えるキャリア形成の機会としています。

立命館大学では低回生（1回生）向けのキャリア教育に注力しており、3キャンパスで合計14クラス（1クラス授業定員35名、合計受講者数490名）を開講しています。

ぜひ、学生のキャリア形成のために貴社の理念・資源・知見をお貸しいただきたく、よろしくお願いいたします。

(2) 開講形態等

科目認定分野：教養教育科目（正課科目）

単位：2単位

配当回生：1回生のみ

クラス規模：35名（上限）

●2023年度キャンパス別 開講クラス一覧（詳細は別紙をご参照ください）

| | | 衣笠キャンパス 【KIC】（京都市） | びわこ・くさつキャンパス 【BKC】（草津市） | 大阪いばらきキャンパス 【OIC】（茨木市） |
|------------|-----|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------|
| 対象学部 | | 法、産業社会、国際関係、文、映像 | 経済、理工、情報理工、生命、薬、スポーツ健康科学、食マネジメント | 経営、総合心理 |
| 開講クラス数 | | 6クラス | 5クラス | 3クラス |
| 時間割 （※） | 春学期 | 火曜日 3限（×2クラス） 火曜日 5限（×2クラス） | 月曜日 5限 水曜日 3限 水曜日 5限 | 木曜日 3限 木曜日 5限 |
| | 秋学期 | 水曜日 2限 水曜日 3限 | 火曜日 3限 火曜日 4限 | 木曜日 3限 |

（※） 時限：2限=10:40～12:10、3限=13:00～14:30、4限=14:40～16:10、5限=16:20～17:50

(3) 授業計画 ※網掛け部分…企業様にご出講いただく回（合計3回）

第1～2回 オリエンテーション チーム編成とグループ活動の進め方

(連携企業様・前半日程)

第3回 課題提示（課題理解を深める）【約60分間で課題設定についてプレゼンテーションをしていただきます】

第4回 グループ活動（一次プレゼンに向けた準備）

第5回 一次提案とフィードバック 【5～6グループが発表します。それぞれの発表に対して3分程度でフィードバックしてください】

第6回 グループ活動（最終プレゼンに向けた準備）

第7回 最終提案とフィードバック 【5～6グループが発表します。それぞれの発表に対して3分程度でフィードバックしてください】

第8回 中間総括／プロジェクトBに向けた準備（チーム再編）

(連携企業様・後半日程)

第9回 課題提示（課題理解を深める）【約60分間で課題設定についてプレゼンテーションをしていただきます】

第10回 グループ活動（一次プレゼンに向けた準備）

第11回 一次提案とフィードバック 【5～6グループが発表します。それぞれの発表に対して3分程度でフィードバックしてください】

第12回 グループ活動（最終プレゼンに向けた準備）

第13回 最終提案とフィードバック 【5～6グループが発表します。それぞれの発表に対して3分程度でフィードバックしてください】

第14～15回 最終総括／今後の学びの展望

(4) 一般社団法人 Future Skills Project 研究会(以下、FSP 研究会)との連携について

本授業は、主体性の涵養や大学教育への意識付けを目的とした「产学連携授業」や「PBL（課題解決型学習）」などのカリキュラムの研究と実践を行っている一般社団法人であるFSP研究会と連携し、そのカリキュラムに沿って授業を実施いたします。

<http://www.benesse.co.jp/univ/fsp/curriculum/>

2. 企業様への主な依頼事項

(1) ゲスト講師の推薦および授業へのご参加 (①課題提示、②一次提案、③最終提案)

※講座日程はこちらをご参照ください。

[http://www.ritsumei.ac.jp/cec/course/society/schedule.html/](http://www.ritsumei.ac.jp/cec/course/society/schedule.html)

※他連携企業様との関係で日程調整をお願いする場合がありますことをご了承ください。

※謝礼および本学への交通費につきましては、お支払いできませんことをご了承ください。

(2) リアルな課題のご提示

<各企業から提示された課題（過年度例）>

| | |
|----------|---|
| メーカー | 「自社の製品で世の中の社会問題を解決せよ！」 若手社員のあなたは、ある時、新規事業を開発するために発足した「創業プロジェクト」のメンバーに選ばれました！このプロジェクトは、既存製品や技術を応用し、本来の目的にこだわらない活用法を研究することで、現代社会の課題を解決することを目的としています。 |
| 半導体・電子部品 | あなたが所属する部は”ガス測定分野の新製品”の開発がテーマです。 どんなガスを測定する製品の開発をすべきか、市場ニーズ（世の中の課題）から考えて提案してください。 |

| | |
|-----|---|
| 証券 | あなたは XX 証券の社員です。 より良い社会を実現するために魅力的と考える投資対象を決め、その根拠も示しなさい。 |
| 食品 | あなたはフードサプライ営業部に所属しています。中食・外食産業へ向け、新しい食のトレンドを創造するような、かつ利益拡大に繋がる企画を提案せよ。 |
| 保険 | あなたは新商品を企画するプロジェクトメンバーに抜擢されました。 ニューリスク・マーケットへの新たな取り組みを考案せよ。 |
| 陸運業 | あなたは XX 沿線の賑わい創造を検討・実施していく活性化チームのメンバーです。 XXX エリアへの旅客誘致の強化を図るため、話題性が高く、同エリアの賑わい創出に繋がる施策を提案してください。 |

(3) FSP 研究会が実施する企業向研修の受講につきまして

講師として来ていただく方に、課題設定やフィードバックの際のご留意点等について、FSP 研究会が実施する研修（2 時間程度）を受講いただきます。

3. 開講までの主なスケジュール

開講前年度 11 月頃～ 連携企業決定、実施キャンパス・時間割調整

開講年度 2～3 月頃 FSP 研究会による研修の受講（新規企業様のみ）

開講年度 4 月 春セメ授業開始（～7 月まで）

開講年度 9 月 秋セメ授業開始（～12 月まで）

4. その他

本講座は就職活動・採用活動とは切り離して位置づけておりますので、授業内における学生の個人情報の取得等はお断りしております。趣旨をご理解いただきますようお願いいたします。

以上

（お問合せ先）

立命館大学 共通教育課（キャリア教育センター）

E-mail: ca-edu@st.ritsumei.ac.jp

キャリア教育センターHP:<http://www.ritsumei.ac.jp/cec/>